

第146号議案

令和元年度長崎市一般会計補正予算(第5号)

目次	ページ
《6款 農林水産業費 3項 水産業費》	
4目 漁港建設費	
〔繰越明許費の補正〕	
【補助】水産物供給基盤機能保全事業費 1
《11款 災害復旧費 1項 農林水産施設災害復旧費》	
1目 農業用施設災害復旧費	
〔繰越明許費の補正〕	
【補助】農業用施設災害復旧費 現年度災害分 2 ~ 7
2目 林業施設災害復旧費	
〔歳出及び繰越明許費の補正〕	
【単独】林業施設災害復旧費 過年度災害分 8 ~ 13
〔債務負担行為の補正〕	
林道大崎線災害復旧事業 14 ~ 18

東総合事務所
南総合事務所
北総合事務所
令和元年11月



〔繰越明許費〕 予算説明書 46～47 ページ

6 款 農林水産業費 3 項 水産業費 4 目 漁港建設費

(単位:千円)

事業名	金額		財 源 内 訳				
			国庫支出金	県支出金※1	地方債※2	その他	一般財源
【補助】水産物供給基盤機能保全事業費 漁港施設機能保全	予算現額	40,600	—	20,000	18,500	—	2,100
	支出予定額	2,600	—	1,000	1,400	—	200
	繰越明許額	38,000	—	19,000	17,100	—	1,900

※1 水産物供給基盤整備事業費補助金（間接補助） 補助率 1 / 2

※2 公共事業等債 充当率 90%

1 概要

漁港施設の老朽化に伴い、長寿命化を図るため、水産物供給機能保全事業費補助を受けて施設の機能保全を行い、漁港施設の維持と利用者の利便性の向上を図る。

2 事業内容

たちばな漁港（戸石地区）堆積土砂の浚渫工事 $V=2,000\text{m}^3$ （繰越施工）
 たちばな漁港（網場地区）道路床版の保全工事 $A=120\text{m}^2$ （今年度施工）

3 繰越理由

たちばな漁港（戸石地区）堆積土砂の浚渫工事において、関係機関との調整に不測の日数を要し、工事が年度内に完了しない見込みであるため。

4 事業完了予定 令和2年7月

5 位置図



11款 災害復旧費 1項 農林水産施設災害復旧費 1目 農業用施設災害復旧費

(単位:千円)

事業名	金額		財源内訳			
			県支出金	地方債	その他	一般財源
【補助】農業用 施設災害復旧費 現年度災害分	予算現額	13,260	7,530	5,000	300	430
	支出予定額	0	0	0	0	0
	繰越明許額	13,260	7,530	5,000	300	430

<繰越明許額 13,260千円の内訳>

- ・船石町農地ほか災害復旧工事 8,000千円
- ・長浦町農地災害復旧工事 5,260千円

1 概要

令和元年8月豪雨により被災した農地及び農業用施設の災害復旧工事を行うもの。

2 事業内容

区分	場所	災害対象	災害内容	規模	復旧方法
東総合 事務所	船石町	農地 農業用施設(水路)	石積崩壊	L=9.0m H=4.3m	ブロック積
北総合 事務所	長浦町	農地	擁壁崩壊	L=27.0m H=2.6m	ブロック積

3 繰越理由

農地及び農業用施設の災害復旧工事が年度内に完了しない見込みであるため。

4 完了予定

令和2年6月

【補助】農業用施設災害復旧費
位置図



長浦町

船石町

【凡例】

中央総合事務所	●
東総合事務所	●
南総合事務所	●
北総合事務所	●

位置図

船石町災害復旧
農業用施設（水路）
農地

九州横断自動車道

つつじが丘

国道34号

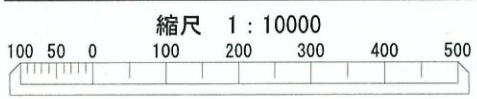
中里町

古賀地区市民センター

船石町

古賀町

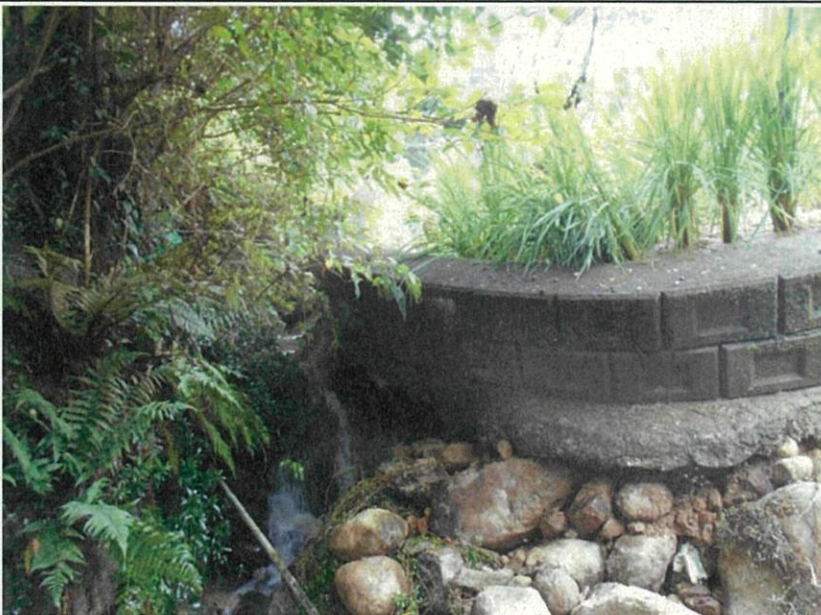
被災箇所



614-1 船石(農地) 614-1001 船石(農業施設) 被災写真



被災直後
撮影日 R元.8.30



位置図 長浦町農地災害復旧



長浦町

被災直後
R1.8.28 撮影



予 算 説 明 書					事 業 名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
40~41	11 災害 復旧費	1 農林水産 施設災害 復旧費	2 林業施設 災害復旧費	1-1	【単独】林業施設災害復旧費 過年度災害分	千円 20,000

1 概 要

平成25年2月1日豪雨により、外海地区の神浦下大中尾町に位置する森林基幹道西彼杵半島線にて、擁壁下の側溝に地すべり性の挙動が確認されたことにより、県に災害報告を行っていた。地すべり災害に認定されるためには、数年間にわたり地すべりによる挙動を観測する必要があることから、平成25年度から平成30年度までの6か年にわたり調査観測業務を行ったところ、平成30年7月の西日本豪雨において、地すべり災害を満たす挙動が確認されたことから、令和元年度に過去の調査資料をとりまとめ県と協議を行い、地すべり災害の対象として認められたため、早急な復旧に向けて、災害復旧工事に係る設計業務を行うもの。

2 事業内容

地すべり災害復旧設計調査業務委託 20,000千円

(業務内容)

- ・地質調査(ボーリング・土質試験) 1式
- ・設計業務(地すべり対策工解析・設計) 1式

3 財源内訳

区 分	事 業 費	財 源 内 訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算額	千円 0	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -	千円 0
11月補正	20,000	-	-	-	-	20,000
補正後	20,000	-	-	-	-	20,000

森林基幹道西彼杵半島線

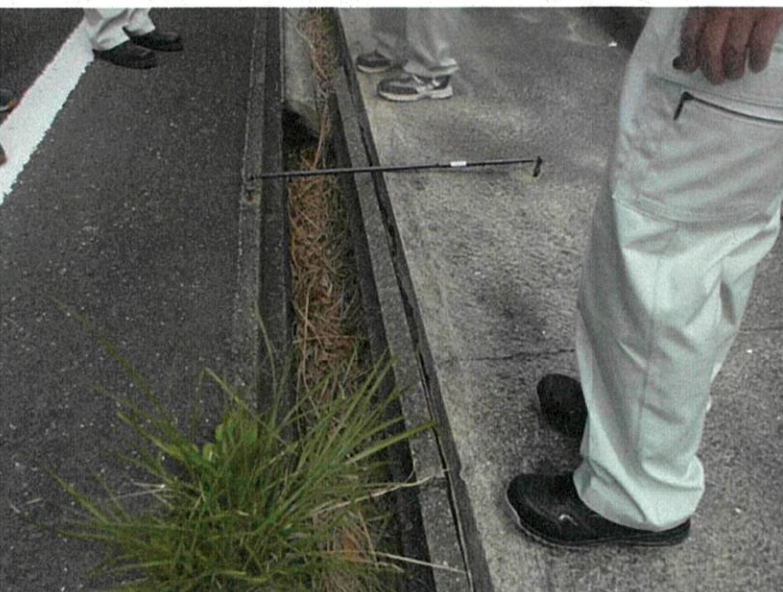


L=50.0m H=20m
W=8.0m

地すべり法面状況
(法面下、路線側)



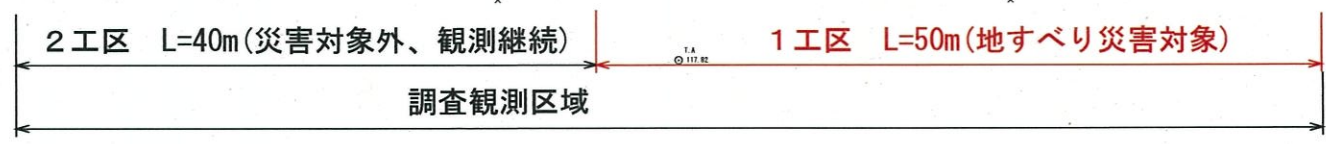
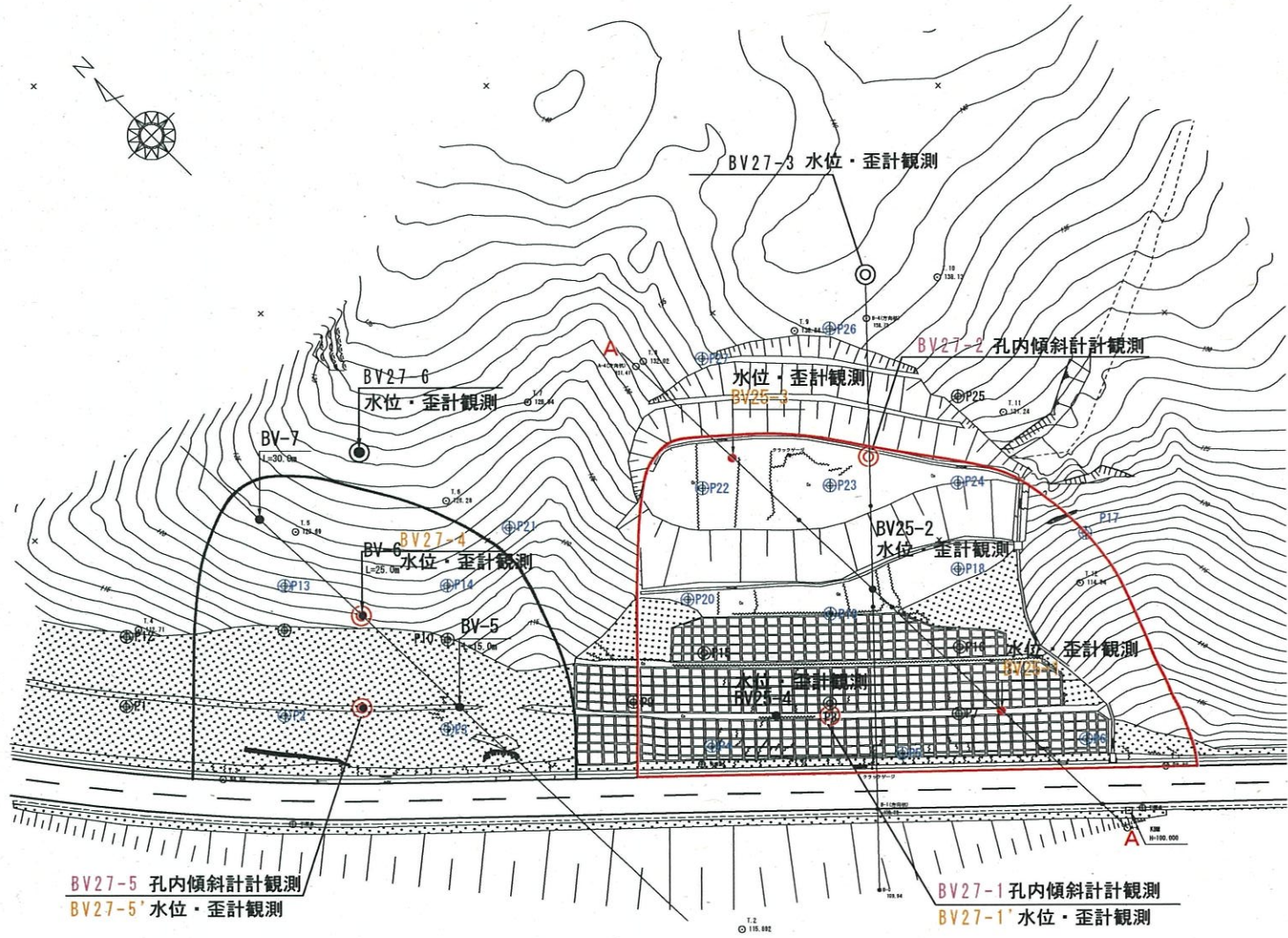
地すべり法面状況
(法面上、擁壁側)



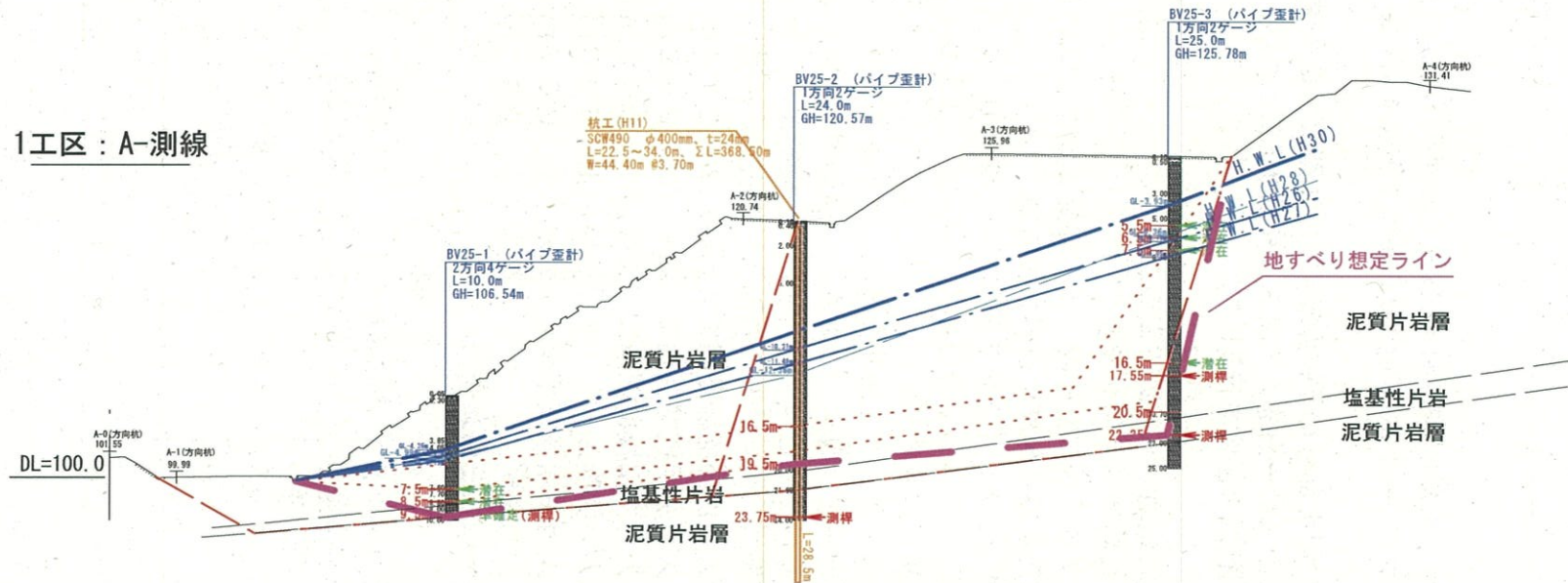
道路側溝損壊状況



1工区 L=50m(地すべり災害対象)



1工区：A-測線



債務負担行為		期 間	限度額 (設定額)
第4表 ページ	事 項		
11	林道大崎線災害復旧事業	令和2年度	千円 29,204

1 概 要

(1) 事業目的

平成25年8月1日から平成30年7月13日までの地すべり災により、被災した林道大崎線の災害復旧工事を、平成30年度より三箇年で実施するもの。

(2) 補正理由

現地再調査の結果、切土部分のうち崩壊部での大型機械の作業について安全性を確保できないことから、土工の一部を人力施工に変更することにより工事費が増が生じ、令和2年度の債務負担行為の設定を行うもの。

2 事業内容

(1) 工 事 名 : 林道大崎線地すべり災害復旧工事

(2) 事業期間 : 平成30年度～令和2年度

(3) 総事業費 : 当初276,320千円 ⇒ 変更264,577千円

※令和元及び2年度は債務負担行為

工事費 272,237千円 ⇒ 260,667千円

事務費 4,083千円 ⇒ 3,910千円

(4) 工事内容 : 工事延長L=96.6m

・土工 一式 ・法面保護工 A=2976.7m²

・アンカー工 N=109本 ・舗装工 A=382.5m²

・排水施設工 L=77.8m ・擁壁工 L=33.0m

・防護柵工 L=35.0m ・撤去工 一式 ・仮設工 一式

(5) 変更内容 当初 : 人力併用機械掘削工 (土砂) 2,214m³

人力併用機械掘削工 (軟岩) 2,998m³

変更 : 人力併用機械掘削工 (土砂) 933m³

人力掘削工 (土砂) 1,595m³

人力併用機械掘削工 (軟岩) 1,067m³

人力掘削工 (軟岩) 1,931m³

(6) 工事費経緯 (太線枠は債務負担)

(千円)

年度	予 算 経 緯				債務負担補正額
	平成30年11月 補正予算	平成31年3月 契約金額	令和元年6月 第1回変更	11月議会 第2回変更	
30	108,895	(前金) 89,660	89,660	89,660	
元	(当初予算) 54,448	44,830	46,140	(中間前金) 52,130	
2	108,894	① 89,673	② 94,936	③ 118,877	③-① 29,204
合計	272,237	224,163	230,736	260,667	

※ ②-①=5,263千円(6月補正分)、③-②=23,941千円(11月補正分)

第1回変更理由 : 設計労務単価の特例措置に係る請負金額の変更

第2回変更理由 : 現地再調査に伴い、土工の一部を人力施工へ変更

3 債務負担額

(1) 限度額の年度内訳

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度補正額 限度額(設定額)	計
千円 (前金)89,660	千円 52,130	千円 89,673	千円 29,204	千円 260,667

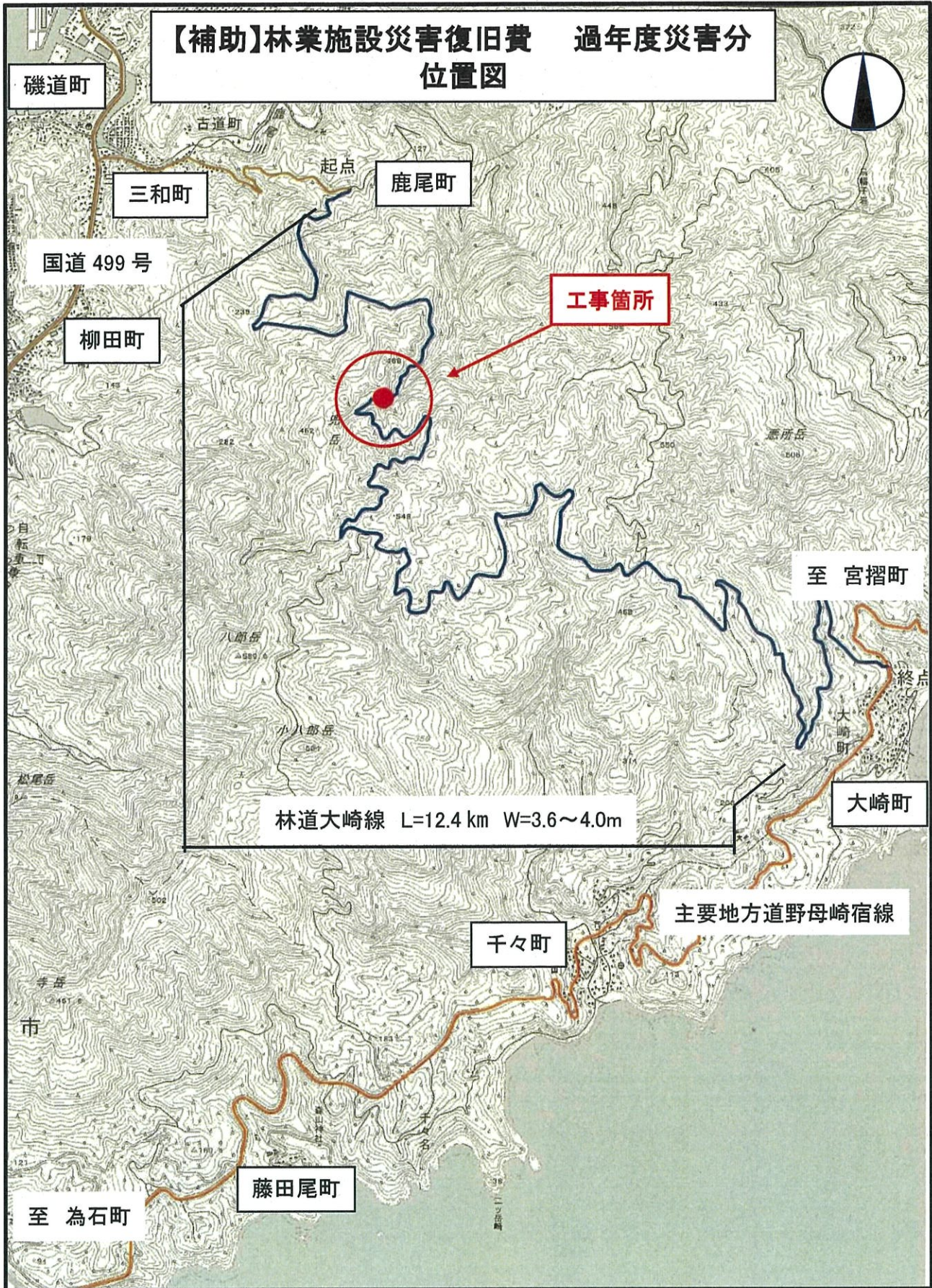
4 財源内訳

年度	事業費	財 源 内 訳				
		国庫支出金	県支出金※1	地方債※2	その他	一般財源
2	千円 29,204	千円 -	千円 28,123	千円 800	千円 -	千円 281

※1 補助率 (林業施設災害復旧費) 対象事業費×96.3%

※2 起債充当率 (農地農林施設災害復旧債) 2年度…過年 80%

【補助】林業施設災害復旧費 過年度災害分
位置図



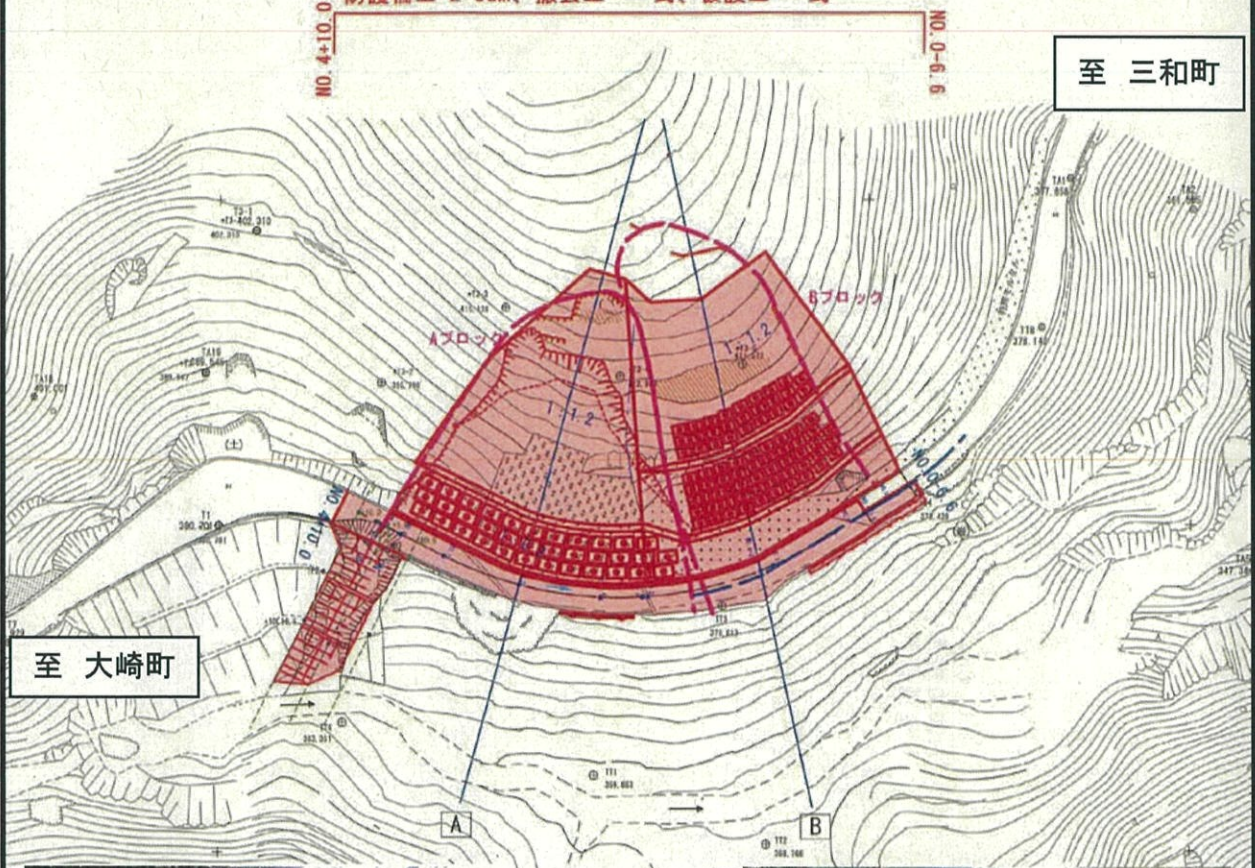
林道大崎線地すべり災害復旧工事

平面図



工事延長 L=96.6m
 土工 一式、法面保護工 A=2976.7m²、アンカー工 N=109本、
 舗装工 A=382.5m²、排水施設工 L=77.8m、擁壁工 L=33m、
 防護柵工 L=35m、撤去工 一式、仮設工 一式

至 三和町



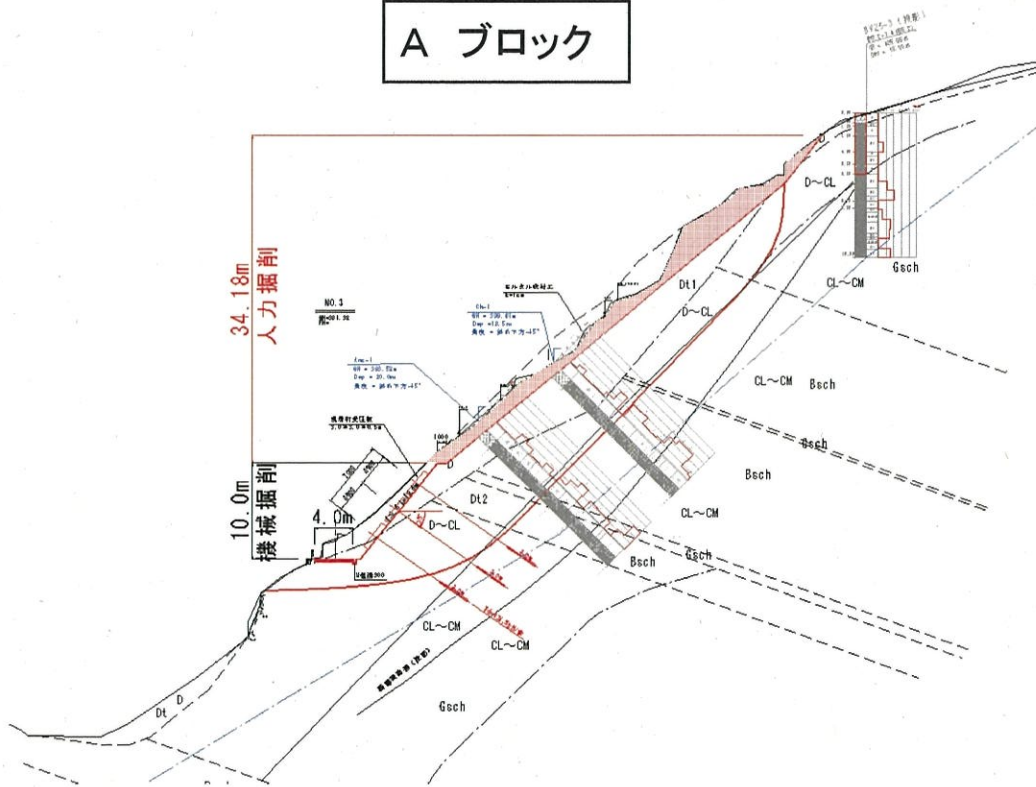
終点側



起点側

標準断面図

A ブロック



B ブロック

